

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第4グループ(片平・岡上)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 NPO法人児童育成会コッコロ ・代表者名 理事長 菅原 敬子 ・住所 川崎市麻生区岡上120-4	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 片平こども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 36,780人 ②年間延べ利用団体数 1,375団体</p> <p>2 片平小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 384人 ②年間延べ利用者数 20,423人</p> <p>3 栗木台小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 437人 ②年間延べ利用者数 18,550人</p> <p>4 はるひ野小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 581人 ②年間延べ利用者数 18,151人</p> <p>1 岡上こども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 27,623人 ②年間延べ利用団体数 606団体</p> <p>2 岡上小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 143人 ②年間延べ利用者数 7,987人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 98,156,556</p> <p>2 支出 人件費 88,327,543 事業費 5,081,533 事務費 9,164,959 その他 合計 102,574,035</p> <p>3 差引 -4,417,479</p>
サービス向上の取組	こども運営会議、保護者懇談会、近隣町会・自治会、利用団体等、日常の利用者や地域との良好な関係を保ちながら利用者ニーズを把握し、運営に反映させている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) グループ合同事業として、黒川野外活動センターを利用した「お泊り会」やダンスグループの指導による「ピース×ピース」を開催し、ダンスの練習を行い、あさお区民まつりで一緒に披露するなど、学校や学年を超えた交流を図っている。乳幼児親子対象の「おかつこサロン」を継続的に開催し、乳幼児親子支援の充実を図っている。また、乳幼児の親に対し、こども文化センターで仲間を作り、地域でのつながりを作ってもらえるように、子育てサークル等の紹介などの働きかけを積極的に行ったり、初めて又は一人で来館する利用者に対して声掛けして、利用しやすい雰囲気づくりを行っている。事業計画、仕様書のとおり事業が実施されており、年間延べ利用者数は昨年度と比べ4%増加している。わくわくプラザにおいても適切に児童の受入れが行われている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・ 会計手続 効率的・効果的な 支出	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
		計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に処理されている。また、消耗品や備品購入などを精査し、最小限に抑えるなど、経費削減に取り組んでいる。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 広報誌の配布地域を拡大し、町内会の回覧に入れてもらうなど、施設・事業の周知のための広報を積極的に行っている。日頃から利用者や保護者とのコミュニケーションが保たれ、特別な配慮を要する利用者への対応も適切であり、良好なサービスの提供が図られている。こども文化センター運営協議会及びわくわくプラザ保護者懇談会を定期的に開催し、意見交換や情報提供を適切に行っている。岡上こども文化センターでは、和光大学のサークルや大学ゼミと連携し、「蛍鑑賞会」「虫の観察」や乳幼児向けの「ムーブメント教室」などの事業が行われている。また、同こども文化センター及び隣接施設も一体とした会場で地元の2つの町内会が主催する「おかがみふれあいまつり」において、今年度も引き続き、こども文化センターが事務局を担うことで、そのこども文化センター利用者も含め、積極的に地域交流を図っている。さらに片平こども文化センターでは、地域の餅つき大会と「かたひらこぶんまつり」を合同開催するなど、各こども文化センターでは、学校等と連携した特色ある事業が実施され、児童等利用者の交流施設としての機能の向上が図られている。意見箱、こども運営会議などによって利用者及び地域のニーズの把握に努めており、行事の運営などに生かされている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	4	8
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な支援を必要とする児童などの状況に応じて、適時、加配がなされており、円滑な事業運営が行われている。また、知的障害者福祉司任用資格者や元小学校個別支援級教諭などを配置し、専門知識を持った職員が直接児童の対応を行っている。市主催の研修や財団による研修など、職員のスキルアップに必要な研修が適切に実施されている。個人情報保護マニュアルと管理体制が整備されており、個人情報の取扱いが適正に行われている。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	3	3
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 施設整備の保守点検や必要な補修工事が実施されており、備品の管理も適切に行われている。日常的な安全点検の実施や救命講習の受講など、安全・衛生管理に適切に取り組んでいる。また、災害発生等に備え、マニュアルを策定し、職員会議などを通じて学習会を開催しているほか、消防訓練等が適切に実施されている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わってきた経験を活かしながら、来館する利用者に対して利用しやすい雰囲気づくりを行いながら、事業の推進、サービスの提供が図られている。
また、わくわくプラザにおいては、特別な支援を必要とする児童に対して、資格者等、専門的知識を有する職員が対応を行うなど、適切な運営が行われている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキルの向上を図るとともに、利用者にとって各施設がより地域に根付いた居心地のよい場所になるよう努めていただきたい。また、収支についてはさらなる工夫を期待する。